

## 地域再生計画 新旧対照表

変更前	変更後
<p>1～3 (略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>(1) 盛岡市の現状及び地域再生計画策定の経緯</p> <p>盛岡市は、南部藩の城下町として、400年余の歴史と伝統に生まれ、岩手山をはじめとする山並みを背に、北上川・中津川・雫石川の3川が街なかを悠然と流れる「杜と水の都」である。また、県都として岩手県の発展の誘導的役割を担うとともに、東北新幹線の八戸延伸などを契機として、北東北の交流拠点都市としての役割が一層期待されているところである。</p> <p>しかし、少子・高齢化の進行、経済のグローバル化、地方財政の硬直化といった社会経済情勢の変化は、盛岡市における経済状況や雇用情勢にも大きな影響を及ぼしている。</p> <p>特に、「街の顔」である中心市街地は、自家用車の集中や基盤整備の不足による慢性的な交通混雑の発生、郊外型大型店の出店による商店街の空き店舗の増加等により、販売額や占有率が横ばい又は衰退の方向にあり、併せて、若年層を中心とした雇用状況の悪化も顕著である。</p> <p>盛岡市は、中心市街地の活性化施策として、平成11年度に民間事業者等との協働により「盛岡市中心市街</p>	<p>1～3 (略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>(1) 盛岡市の現状及び地域再生計画策定の経緯</p> <p>盛岡市は、南部藩の城下町として、400年余の歴史と伝統に生まれ、岩手山をはじめとする山並みを背に、北上川・中津川・雫石川の3川が街なかを悠然と流れる「杜と水の都」である。また、県都として岩手県の発展の誘導的役割を担うとともに、東北新幹線の八戸延伸などを契機として、北東北の交流拠点都市としての役割が一層期待されているところである。</p> <p>しかし、少子・高齢化の進行、経済のグローバル化、地方財政の硬直化といった社会経済情勢の変化は、盛岡市における経済状況や雇用情勢にも大きな影響を及ぼしている。</p> <p>特に、「街の顔」である中心市街地は、自家用車の集中や<u>道路交通基盤</u>の不足による慢性的な交通混雑の発生、郊外型大型店の出店による商店街の空き店舗の増加等により、販売額や占有率が横ばい又は衰退の方向にあり、併せて、若年層を中心とした雇用状況の悪化も顕著である。</p> <p>盛岡市は、中心市街地の活性化施策として、平成11年度に民間事業者等との協働により「盛岡市中心市街</p>

地活性化基本計画（計画期間：平成12年度～平成21年度）」を策定した。この計画では、中心市街地の受け持つべき機能として「交わる」・「憩う」・「働く」・「住まう」・「巡る」の5つを設定するとともに、活性化の基本方針・目標・地区別の活性化策を定めているものである。

この計画は、平成16年度までを前期期間、平成17年度からを後期期間として実施されているものの、現下の経済情勢では、施設整備、助成措置等のハード面に関し、計画どおりの整備は行われていない状況にあり、当該計画とは別のスキームによる中心市街地活性化策が期待されている。

(2) 地域再生計画『「まちなか観光」と「まちなか居住」による元気なまちの再生』の内容

盛岡市は、古い歴史に裏付けられた高い文化と優れた環境に育まれた多数の観光資源が市内各地に存するとともに、春はチャグチャグ馬コ、夏はさんさ踊り、秋は盛岡八幡宮大祭（秋まつり）などの行事が行われ、また、半径100kmの範囲内に八幡平と陸中海岸の2つの国立公園を有する北東北の観光拠点都市である。

また、盛岡市は、岩手県の県都として、美しい緑と清らかな水に囲まれ、古くからの街並みと温かい人情が残存する街であり、中心部におけるマンションが100棟を超えるな

地活性化基本計画（計画期間：平成12年度～平成21年度）」を策定した。この計画では、中心市街地の受け持つべき機能として「交わる」・「憩う」・「働く」・「住まう」・「巡る」の5つを設定するとともに、活性化の基本方針・目標・地区別の活性化策を定めているものである。

この計画は、平成16年度までを前期期間、平成17年度からを後期期間として実施されているものの、現下の経済情勢では、施設整備、助成措置等のハード面に関し、計画どおりの整備は行われていない状況にあり、当該計画とは別のスキームによる中心市街地活性化策が期待されている。

(2) 地域再生計画『「まちなか観光」と「まちなか居住」による元気なまちの再生』の内容

盛岡市は、古い歴史に裏付けられた高い文化と優れた環境に育まれた多数の観光資源が市内各地に存するとともに、春はチャグチャグ馬コ、夏はさんさ踊り、秋は盛岡八幡宮大祭（秋まつり）などの行事が行われ、また、半径100kmの範囲内に八幡平と陸中海岸の2つの国立公園を有する北東北の観光拠点都市である。

また、盛岡市は、岩手県の県都として、美しい緑と清らかな水に囲まれ、古くからの街並みと温かい人情が残存する街であり、中心部におけるマンションが100棟を超えるな

<p>ど、市民の都心居住への志向が高い。</p> <p>地域再生計画は、盛岡城址を中心に中心市街地が高密度に形成された盛岡市の特性を活かし、市民やNPO団体との協働を図りながら、次の観点によって『まちなか観光』・『まちなか居住』を推進することにより、中心市街地における観光や商業の活性化と市民の都心居住回帰を図り、活力ある地域経済の再生に努め、「再び訪れたいまち」、「住みやすいまち」という元気なまちを実現しようとするものである。</p> <p>『まちなか観光』 ア～ウ （略）</p> <p>『まちなか居住』 ア～ウ （略）</p> <p>エ 「地域資源の保護・保全」</p> <p>地域と行政，NPO団体等との協働</p>	<p>ど、市民の都心居住への志向が高い。</p> <p>地域再生計画は、盛岡城址を中心として高密度に形成された<u>中心市街地</u>を再生するため、市民やNPO団体との協働を図りながら、次の観点によって『まちなか観光』・『まちなか居住』を推進することにより、中心市街地における観光や商業の活性化と市民の都心居住回帰を図り、活力ある地域経済の再生に努め、「再び訪れたいまち」、「住みやすいまち」という元気なまちを実現しようとするものである。</p> <p>『まちなか観光』 ア～ウ （略）</p> <p>エ 「盛岡ブランドの推進」</p> <p><u>長年、まちなかで培われてきた「南部藩400年の歴史、川や歴史的な町並み景観、啄木や賢治、南部鉄器などの特産品」など、盛岡の暮らし文化の優れた魅力を「盛岡ブランド」として発掘、育成、発信して、市民みんなが来訪者をあたたかくおもてなしすることで、観光客から盛岡が「選ばれるまち」になることを目指すもの</u></p> <p>『まちなか居住』 ア～ウ （略）</p> <p>エ 「<u>地域資源の保護・保全と魅力づくり</u>」</p> <p>地域と行政，NPO団体等との協働</p>
---	---

<p>を進め、「杜と水の都」の象徴である河川敷や橋の清掃，清らかな川の環境を保持する活動，公園の美化や緑化の推進に努め，快適でうるおいのある都市空間を確保しようとするもの</p> <p>(3) 地域再生計画の目標</p> <p>定量的な目標としては，次の3点を掲げる。</p> <p>① 盛岡市街観光客入込数（平成15年度 約3,805千人回） 平成21年度 約4,100千人回</p> <p>② 盛岡市の卸・小売業販売額（平成14年度 約14,108億円） 平成21年度 約14,985億円</p> <p>③ 新規雇用の創出 平成21年度 7,900人の雇用創出（盛岡公共職業安定所管内）</p> <p>5-1 (略)</p> <p>5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置 【C2001】市民活動団体等支援総合事業</p>	<p>を進め，<u>盛岡ブランド</u>である中津川，北上川など，<u>まちなかを流れる河川，湧水など盛岡のブランドとして確立している水の恵みの保全と活用を進めるとともに</u>，「杜と水の都」の象徴である河川敷や橋の清掃，清らかな川の環境を保持する活動，公園の美化や緑化の推進に努め，快適でうるおいのある都市空間を確保しようとするもの</p> <p>(3) 地域再生計画の目標</p> <p>定量的な目標としては，次の4点を掲げる。</p> <p>① 盛岡市街観光客入込数（平成15年度 約3,805千人回） 平成21年度 約4,600千人回</p> <p>② 盛岡市の卸・小売業販売額（平成14年度 約14,108億円） 平成21年度 約14,985億円</p> <p>③ 新規雇用の創出 平成21年度 7,900人の雇用創出（盛岡公共職業安定所管内）</p> <p>④ <u>盛岡特産品ブランド認証事業所数及び認証件数</u> <u>平成21年度 150事業所，200件</u></p> <p>5-1 (略)</p> <p>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置 【C2001】市民活動団体等支援総合事業</p>
--	---

<p>①</p> <p>ア (略)</p> <p>イ ワークショップ等の開催による市民への周知・啓発事業</p> <p>中津川を中心とする中心市街地の活性化による地域の再生や中津川を核としたこれからの市民と行政との協働体制の構築に関するワークショップにおける成果について、中津川にかかわりのある市民団体等の活動を促進するための総合イベントにより市民に認知してらい、都市中心部の活力を維持するために中津川が果たす役割と保護・保全の必要性について周知・啓発を図る。</p> <p>ウ (略)</p> <p>② (略)</p>	<p>①</p> <p>ア (略)</p> <p>イ ワークショップ等の開催による市民への周知・啓発事業</p> <p>中津川を中心とする中心市街地の活性化による地域の再生や中津川を核としたこれからの市民と行政との協働体制の構築に関するワークショップにおける成果について、中津川にかかわりのある市民団体等の活動を促進するための総合イベントにより市民に認知して<u>もらい</u>、都市中心部の活力を維持するために中津川が果たす役割と保護・保全の必要性について周知・啓発を図る。</p> <p>ウ (略)</p> <p>② (略)</p> <p><u>【B2001】 官民パートナーシップ確立のための支援事業</u></p> <p><u>中津川の景観や親しみやすい水辺、多様な生き物などの河川資源を盛岡ブランドとして一層の魅力を発揮させるため、盛岡ブランドを推進するNPO法人、市民団体が協働して、河川環境資源の調査を一層進めるとともに、市民を対象としたツルヨシなどの資源副産物の活用や理解推進イベントの実施、修学旅行生向けの学習プログラム等の充実を図り、まちなか観光・まちなか居住の推進を図るものである。</u></p>
--	--

<p>5-3-2 支援措置によらない取組 ①～② (略)</p> <p>③ 盛岡市雇用推進計画（平成16年2月策定）</p> <p>今後5年間にわたる緊急・応急的な雇用対策と、地域経済の自立と雇用確保・創出に向けた施策を推進するために策定したものである。</p> <p>この計画では、商工業・観光・農林業の推進強化、中小企業の経営基盤強化への支援、新産業の創出といった「企業活性化支援や民間活力による雇用創出の推進」及び若年者雇</p>	<p>(実施主体) おもてなしプラザ運営協議会</p> <p><u>ア 中津川の環境保全活動</u> 中津川の良い環境を保全するため水質浄化作用のある植物（ツルヨシ）の保護と増殖に取り組む。</p> <p><u>イ 河川資源の副産物利用</u> 枯れたツルヨシを刈り取り、農業用資材、和紙の原料、茅葺き屋根材料等に活用し、盛岡ブランドに活かす。</p> <p><u>ウ 中津川の河川敷を利用した物産市の開催</u> 河川敷を利用して環境志向の産直市・物産市を開催する。</p> <p><u>エ 中津川をフィールドとした修学旅行プログラムの開発</u> 中津川の自然や市民活動を学ぶ環境学習プログラムを構築し、修学旅行の受け皿作りに取り組む。</p> <p>5-3-2 支援措置によらない取組 ①～② (略)</p> <p>③ 盛岡市雇用推進計画（平成16年2月策定）</p> <p>平成15年度からの5年間にわたる緊急・応急的な雇用対策と、地域経済の自立と雇用確保・創出に向けた施策を推進するために策定したものである。</p> <p>この計画では、商工業・観光・農林業の推進強化、中小企業の経営基盤強化への支援、新産業の創出といった「企業活性化支援や民間活力に</p>
--	--

<p>用の促進，外部委託の推進拡大，福祉サービスの支援などによる「行政活動による雇用創出の推進」を2本の柱とし，平成19年度までの間における5千人の雇用創出に向け，計画を推進することとしている。</p> <p>6 計画期間 (以下略)</p>	<p>よる雇用創出の推進」及び若年者雇用の促進，外部委託の推進拡大，福祉サービスの支援などによる「行政活動による雇用創出の推進」を2本の柱として計画を推進した結果，<u>11,240人の雇用創出（達成率159.6%）を収めることができた。</u></p> <p>④ <u>盛岡市ブランド推進計画（平成18年1月策定）</u></p> <p><u>盛岡市が「訪れたい」「暮らしたい」と「選ばれるまち」になるために，盛岡の多様な暮らし，文化の魅力を，盛岡ブランドとして，発掘・育成・発信する取り組みであり，平成26年度まで実施する予定である。</u></p> <p><u>計画の主な取組みは「まちなみ景観づくり」「盛岡水の恵み推進」「特産品ブランド認証」「先人と文化振興」の4つのプロジェクトで構成されており，市民協働での取組みが基本方針となっている。</u></p> <p>6 計画期間 (以下略)</p>
---	--